



京都第一赤十字病院 SDGs宣言書

2022年9月

SDGsとは、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。「誰一人取り残されない」世界の実現にむけ、2030年までに達成すべき17の目標と、169のターゲットが定められています。



SDGsが掲げる目標達成に向け、下記のとおり宣言いたします。

取り組みテーマ

具体的取り組み

SDGs目標

地域の基幹病院

“人道”と“奉仕”の赤十字精神に基づき、地域に信頼される最高の基幹病院を目指してまいります。

【主な取組】

- ・救命救急センターとして重篤患者を、周産期母子医療センターとして妊娠・出産・新生児に至る患者を24時間体制で受け入れ
- ・地域医療支援病院として地域の各医療機関の役割分担を尊重した医療を提供
- ・地域がん診療連携拠点病院として地域の医療機関と密接な連携を図り、がんの専門的診療を実施



災害から 命と健康を守る

京都府内で唯一の基幹災害拠点病院として、災害時には、救命救急医療を提供するだけでなく、府内12箇所の地域災害拠点病院を統括、災害時医療の拠点となってまいります。

【主な取組】

- ・災害発生時に多数の重症傷病者を受け入れ
- ・災害派遣医療チーム「日本DMAT」「京都DMAT」隊員が多数在籍、災害発生時に備えて編成している医師、看護師、事務職員等による常備救護班を被災地に緊急派遣するなど救護活動を展開
- ・平時には災害医療に関する教育・研修・訓練機能を担う役割を発揮



ダイバーシティ & インクルージョン

誰もが「自分らしく」「輝き」「力を発揮できる」職場、そして「お互いを尊重し合う」職場でありつづけるために、数々の取り組みを行ってまいります。

【主な取組】

- ・OJT（職場内研修）とOFF-JT（職場外研修）、自己啓発支援など次代を担う人材を育成
- ・妊娠、出産、育児の支援制度を活用し、妊娠、出産、育児と仕事の両立を支援
- ・日赤本社が推進する全社統合情報システムの運用拡大によりICT化を推進し、業務を効率化



ライフサイクル アセスメント

廃棄物の削減や資源の再利用等、日常業務においても省エネルギーに取り組み、持続可能な社会の構築に寄与してまいります。

【主な取組】

- ・院内のライフライン設備について、常に高効率・省エネを意識して改善への取り組みを実施
- ・災害時に備えると共に平時においても井戸を活用、更に順次節水型の機器へ更新
- ・一般廃棄物と産業廃棄物を適切に管理し排出量の削減に努めるとともに、資源ごみはリサイクル処理業者への委託を徹底

